

Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度	2025年度	開講キャンパス		宮崎キャンパス		開設学科	国際教養学科		
科目名称	英語ライティング						授業形態	演習	
科目コード	590126	単位数	2単位	配当学年	2	実務経験担当教員			Active・L
担当教員名	横堀 仁志							ICT活用	
授業概要	①英検準2級及び英検2級レベルのライティング問題を演習することにより、基本的な英語ライティングのスキルを身につける。30分間で80～100語の文章を書けるようになることを目標とする。 ②英検の過去問題を使用し、実践形式の練習を行う。練習を通じ、以下の事項を身につける。 a) 語彙力・表現力を身につける。 b) 基本的な文法・構文を復習し、身につける。 c) 英文の基本構成について理解を深め、それに沿った文章を書けるようになる。								
関連する科目	1年次に「英文法基礎I」「英文法基礎II」を履修しておくことが望ましい。								
授業の方法と進め方	①英検の過去問題を授業前に課題として実践・解答する。時間を測り、実際の試験のつもりで解答する。 ②授業において指導者が学生のライティングをチェックし、アドバイスする。 ③英文を書くために必要な知識、構文、文法事項について解説する。								
第1回	第1回：オリエンテーション 授業の進め方と学修方法について説明する。課題の取り組み方についても説明する。								
第2回	第2回：基本構文の効果的な使い方について（1） It…to～構文、It…that～構文の使い方について学修する。								
第3回	第3回：基本構文の効果的な使い方について（2） so…that～構文の使い方について学修する。								
第4回	第4回：重要な文法事項について（1） 関係代名詞を復習し、その使い方について学修する。								
第5回	第5回：重要な文法事項について（2） 使役動詞について復習し、その使い方について学修する。								
第6回	第6回：英文ライティングのコツ（1）Plain English 英文を書く際のコツについて説明する。簡潔な英語（Plaing English）の書き方について解説する。								
第7回	第7回：英文ライティングのコツ（2）字面を翻訳するのではなく"ideas"を英語で表現する 英文を書く際のコツについて説明する。日本語の「字面」を英語に翻訳するのではなく、伝えたい「考え」を易しい英語で「表現する」ことの重要性を解説する。								
第8回	第8回：英検2級の過去問題の添削及びEssayの構成について（1）Essayの基本構成について 英語のEssayの基本構成について説明する。日本語の文章との違いを理解する。								
第9回	第9回：英検2級過去問題の添削及びEssayの構成について（2）Paragraphについて 英語のParagraphとは何かについて説明する。日本語の「段落」との違いを理解する。 英文のエッセイの構成を「大宇宙」と「小宇宙」に喩え、英検2級エッセイ問題の模範解答をサンプルとして解説する。 英検エッセイ問題対策問題集の「使える表現」を資料として配布する。								

第10回	第10回：英検 2 級過去問題の添削及びEssayの構成について（3）Introduction & Thesis Statement Introduction（イントロ：導入部）とそこにある"Thesis Statement"について理解する。"Thesis Statement"を含めた導入部の内容とその役割について理解する。
第11回	第11回：英検 2 級過去問題の添削及びの構成について（4）Body & Topic Sentence Body（本文）とそこにある"Topic Sentence"について理解する。"Topic Sentence"を含めた本文の内容とその役割について理解する。
第12回	第12回：英検 2 級過去問題の添削及びEssayの構成について（5）Conclusion Conclusion（結論）について理解する。結論の内容とその役割について理解する。
第13回	第13回：映画鑑賞："Cinderella Man"（前編） 映画を観てその感想文を英語で書く。映画の前編を鑑賞する。
第14回	第14回：映画鑑賞："Cinderella Man"（後編） 映画を観てその感想文を英語で書く。映画の後編を鑑賞し、200単語でエッセイを書く。
第15回	第15回：まとめ 第14回までの学修内容を確認し、疑問点を解決するとともに、期末試験について説明する。
授業の達成目標	①英文エッセイの基本的な構成をふまえた文章が書けるようになる。【汎用的技能】 ②一定程度の正確さをもって語彙、表現、構文、文法を適切に用い、自分の言いたいことを伝えることができる英文を書けるようになる。【汎用的技能】 ③30分間で80～100語の文章を書くことができるようになる。【汎用的技能】
学修成果との関連	6.地域社会への貢献に必要な知識・技能を有する。
授業時間外学習【予習】	英検のライティング過去問題を実際の試験と同様に指定の時間内に解答する。 (毎週2時間程度の学習を想定)
授業時間外学【復習】	辞書等を利用して語彙、表現、文法などをチェックし、2nd draftを書く。 (毎週1時間程度の学習を想定)
課題に対するフィードバック	授業中に課題である英作文の添削を行い、改善のためのアドバイスをする。
評価方法・基準	予習課題（50%） 期末試験（50%）
テキスト	なし。プリントを配布する。
参考書	なし
備考	